

令和2年度 前期 学校評価アンケートの結果お知らせ

*学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。前期分の結果と今後の方策についてお知らせいたします。

2020. 9. 2 白山市立白峰小学校

児童アンケート		保護者アンケート		教員アンケート		今後の方策	
1	元気に学校に来ている。	100.0%	お子さんは、元気に学校に通学している。	100%	児童は、元気に学校に来ている。	100.0%	児童全体へのはたらきかけをこれまで通り継続しつつ、少人数であることのメリットを活かし一人一人の思いや充実感を満たすことができる取り組みを充実させます。
2	授業の内容がよくわかる。	94.1%	お子さんは、授業はわかりやすいと思っている。	88.2%	授業がわかりやすくなるよう工夫している。	100.0%	つきたい力を明確にし、授業後半に適用問題や振り返り等活用する時間を確保し、思考や説明させる働きかけを増やしていきます。
3	「白峰っ子の学び方 六かじょう」を守って学習している。	76.5%	お子さんは、「白峰っ子の学び方 六かじょう」を守って学習している。	76.5%	「白峰っ子の学び方 六かじょう」を守って学習できるようにしている。	100.0%	学習用具の準備や姿勢など、学習の土台としての「学び方6か条」を、普段の授業から粘り強い声掛けや促しをしながら指導を徹底させていきます。
4	自分の考えを根拠やわけをつけて、説明している。	82.4%	お子さんは、自分の考えや思いを相手にわかりやすく伝えている。	76.5%	相手意識を持ち、根拠や理由を明確にして説明できるよう指導している。	87.5%	どんな表現をしてほしいのか教師が具体的なイメージを持ち、問い返しや言い直しをさせながら、洗練された表現となるよう指導します。根拠を指し示せるよう、伝えるための材料の準備をします。
5	家で学年のめあての学習時間の勉強をしている。	82.4%	お子さんは、家で学年のめあての学習時間（学年×10分）の勉強をしている。	58.8%	児童が、家で学年のめあての学習時間の勉強に取り組めるようにしている。（指導・啓発）	100.0%	目標時間に至らない時の家庭学習の取り組み方を、自学ノートなどを使いながら積極的に紹介します。授業内容を広げたり深めたりできるような、学習の仕方の具体例を提示していきます。
6	元気よく自分からあいさつをしたり、返事をしたりしている。	94.1%	お子さんは、家庭や地域で元気よく自分からあいさつをしたり、返事をしたりしている。	76.5%	児童が元気よく自分からあいさつをしたり、返事をしたりできるようにしている。	100.0%	日常的な挨拶指導を継続し、集会や学級で挨拶の良さを伝え、自分から挨拶ができた事例を挙げ褒め、認めていきます。授業の始めや終わりでも、相手意識のある声の挨拶を意識させます。
7	友だちに対して、思いやりの心で行動している。（相手の気持を考えて行動している。）	70.6%	お子さんは、友達に対して思いやりの心で接している。	82.4%	よさを認め合う場の設定や道徳教育の推進で、児童に思いやりの心が育つようにしている。	100.0%	なかよしタイム等、児童同士が関わり合う場や認め合う場を設定していきます。不適切な言動はその場で指導し、適切な言動に対しては、できていることを自覚できる言葉かけを行います。
8	係・当番・委員会・縦割り班の活動などで、誰かの役にたつことができている。	82.4%	お子さんは、みんなのために係や当番・委員会活動ががんばっている。	94.1%	児童を認め励まし、自分の役割を果たせるようにしている。	100.0%	学級及び縦割り班等において役割を果たす場や、高学年児童が主体となって活躍できる活動を計画します。活動には、めあてを持たせ、振り返りの場を設けることを継続します。
9	体育や体力アップの時間に、目標に向けて粘り強く運動に取り組んでいる。	88.2%	お子さんは、放課後や休みの日に、体をよく動かして、体力がついてきている。	76.5%	体育の時間等に、目標に向けて粘り強く取り組み、体力がつくようにしている。	100.0%	引き続き授業では、素早い集合、明確なねらいを定めることを継続します。運動会をはじめ授業やスポチャレを通して、粘り強く取り組み、成果を発表する場を設けていきます。
10	「いただきます」「ごちそうさま」をはっきり言い、感謝して残さず給食を食べている。	88.2%	お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活を送っている。	88.2%	感謝して、給食を残さずに食べる指導をしている。	100.0%	給食時の挨拶は、教師主導から児童の自発行動に結びつけます。残食に対しては、個別対応を工夫します。保健だより等を活用し、児童の生活習慣改善について協力を依頼していただきます。
11	地域のことを勉強したり、地域の人とともに勉強したりしている。	76.5%	学校は家庭や地域との連携、地域の教育力の活用に努めている。	100.0%	計画的に地域教材や地域人材を活用した教育に取り組んでいる。	83.3%	地域の「人・物・こと」を活用した地域学習を進めていけるように教育課程を改善したり、追加したりしていきます。道徳や総合的な学習、クラブ活動における活用を今後も工夫します。
(表中の%は、「よく当てはまる」と「まあまあ当てはまる」の合計です)		100.0%	学校は、活動の様子を、便りやいろいろな場で伝えている。	100.0%	学校活動や児童の様子を、日常的な連絡や便り等で伝えている。	100.0%	学校だより等の紙面構成や内容、発信のタイミングの工夫やホームページの更新を継続します。学級の様子が伝わるよう学年(学級)だよりや個別の連絡を増やしていきます。

8/27 学校関係者評価委員会での話題

学校評議員（3名）育友会役員（2名）学校（校長・教務主任）が参加。後日お知らせ頂いた意見も含む。

- ・白峰の子どもたちが、明るい表情で元気に登校する様子を見かける。地域においても、以前に比べて挨拶を返してくれる子が増えている。挨拶は、大人になって社会に出たとき、どんな職業であっても必要であり、大切なものである。しっかりと身につけてほしい。
- ・「ほめて育てる」ことはとても大切。大人でもうれしくなり、やる気につながることを実感している。ほめ、認めることで、子どもたちはお互いによさを認め合うようになってくる。小さいうちにほめ、認められていないと、大人になっても承認欲求が残ってしまう。間違いはあって当たり前。その上でだめなものはだめと伝えていくとよい。
- ・今年はとてもよい雰囲気であることが、子どもの様子からも伝わってくる。少人数ゆえに、1つのきっかけで大きく変化する。逆もあるということが懸念される。
- ・ゲストティーチャーとして招かれ、話をしているときに、しっかりと体を向け、目を見て聞いてくれて、とてもうれしく思った。
- ・コロナの影響で、地域の方と交流したり、発表の場を設けたりできないことは残念。方法を工夫して、地域の「人・物・こと」をもっと活用できるとよい。



*子どもたちが学びの喜びを実感できる「安心・安全な学校づくり」に向け、職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、保護者・地域の皆様のご協力をお願いいたします。